

## 北海道電力砂川発電所 廃止について

公正会・  
市民の声連合

沢田 広志

**問** 北海道電力砂川発電所廃止の期限まで残り一年、市は北海道電力株式会社と包括連携協定を締結し、脱炭素化に向けたまちづくりの推進等に協働で取り組み、脱炭素社会の実現、一層の地域活性化を目指すとしており、廃止後も含めた取組みについて伺います。

**答** 砂川発電所が令和9年3月に廃止すると発表されて、北電が一定の方向を見出す期限である令和7年3月末までに具体的な事業計画を策定するに至らず、北電とは、引き続き強固な協力体制を構築し、発電所廃止後の跡地利用の検討のほか、これからの脱炭素社会の実現や地域活性化について連携を図るため、令和7年4月25日、包括連携協定を締結しました。

一つ目の柱の「市の脱炭素の実現に係る取組み」では、公共施設の電化・脱炭素化に向けて、電化に向けた設備の最適化や、民間施設の空調設備等のコスト試算を実施し、脱炭素・省エネ・低コスト

に向けた協議を進めてきました。

二つ目の柱の「地域おこし」に係る取組みでは、砂川市の特産品PRのため、北電から市内事業者に声かけして、北電で運営するECサイトに市内事業者1件の商品掲載がされました。

三つ目の柱の「発電所の跡地利用」では、北電が掲げる地域への貢献を第一とし、市の事業との親和性や持続可能性を踏まえ、令和4年から跡地利用に向けた勉強会を継続的に開催し、情報交換を進め協定締結後も本市に最善の策となるよう働きかけています。



## 農福連携について

日本共産党

高田 浩子

**問** 農福連携とは、農業と福祉が連携し、農業経営の発展とともに、障がい者が農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいを持つて社会参画を実現していく取組みであり、近年全国各地で様々な形で取組みが行われているようですが、砂川市の農福連携の現在の状況について伺います。

**答** 砂川市における農福連携の現在の状況については、農業関係では、今年度は農業者3件と新砂川農業協同組合、合わせて4件が取り組んでいます。内容は、ハウス設営、土づくり、包装、キュウリ・トマト等の作業があり、貴重な戦力であると聞いています。

**問** 国・道・その他の機関で農福連携の研修等がありますが、把握状況について伺います。

**答** 農福連携技術支援者育成研修等がありますが、参加については把握していません。

**問** 研修等の問い合わせについて伺います。

**答** 国や道主催の為、問い合わせがあれば確認し情報提供します。

**問** 農業経営における働き手の確保について伺います。

**答** 令和6年度に調査をしており、回答では、全体的に慢性的な働き手不足のようです。

労働力の確保は、無料の農協のアプリや、農協デイワーク等で募集しているようです。

**問** 今後の砂川市の農福連携への取組みについて伺います。

**答** 関係機関・各局と情報共有して、マッチング支援に取り組みます。



## 町内会の持続可能性と 組織再編について

公正会・  
市民の声連合  
武田 真

**問** 本市は平成23年に町内会実態調査を行い、役員の高齢化・役員不足・市からの依頼過多などの課題が指摘されていました。15年を経た現在、課題は一層深刻化しています。そこで、現役世代が参加しやすい環境整備（ICT支援等）の状況、調査以降の検証等について伺います。また、市が町内会の統合・再編に向けた調整機能をより積極的に果たすべきと考えますが、市の見解について伺います。

**答** 調査結果を踏まえ、市民活動等入門講座等による人材の育成等に取り組んでいます。また、砂川市地域コミュニティ活動支援事業補助金を創設し、現役世代の参加促進に活用されています。調査以降の検証等については、町内会連合会との懇談会等を通じ、課題の現状把握に努めています。

**問** 全市民で負担すべき防犯等の公共性の高い活動を町内会の負担で実施している現状認識と負担の整理の考え方について伺います。

**答** 一部自治体において町内会の負担感の見直しが進められていることを把握しています。今後実施する訪問調査を通じ、公共性の高い活動に対する町内会の負担感について把握に努めます。



いて検討を進めていきます。

### 町内会活動の役割と負担の整理について

## 子ども110番の家について

公正会・  
市民の声連合  
小黒 弘

**問** 義務教育学校が開校すると、現在の砂川中学校在校生以外の児童生徒は全く別の通学路を利用することになります。

**答** 児童生徒の安全確保を目的とし、子どもが身の危険を感じた時など緊急時に駆け込みできる場所としての子ども110番の家の今後における考え方について伺います。

**答** 登録されている方々に対しては安全に関する知識、緊急時の対応、連絡・通報方法など具体的なものを周知徹底します。

また、不審者情報が出た時に速報で伝えるような仕組みづくりの検討、子ども達に対して登下校指導や集団下校訓練などを行うなど、子ども110番の家の機能や利用方法について周知を図ります。

### 児童生徒の学校への 送迎車の対応について

**問** 現在、砂川中学校の生徒を車で送迎するためのスペースや方法について意見、苦情が寄せられて

います。今後、義務教育学校が開校すると、さらに送迎車が増え、危険な状態が予想されますが、その対応について伺います。

**答** 現地を確認して四点の対策を考えています。一点目は送迎車・スクールバス・自転車・徒歩の動線を別々に確保する。二点目は送迎車の駐車スペースの確保と走行ルールを徹底する。三点目は登校時の交通指導員の配置と冬期間の雪山の除排雪を徹底する。四点目は保護者への啓発活動の徹底と開校当初は市職員が誘導を行う。

